

製鉄所の見学と組み合わせた指導案(3時間+家庭学習)

学習指導要領(3)ア(ア)(イ)、イ(イ)

単元名:東京書籍 :『わたしたちの生活と工業生産』
 :日本文教出版:『くらしや産業を支える工業生産』
 :教育出版 :『未来をつくり出す工業生産』

★家庭学習での使用

「ハツラツ鉄学」を読み、ワークシートに取り組みさせることで、製鉄所の見学に向けた準備を整える。
 (ワークシート別紙参照)

過程	ねらい	学習活動	留意点と評価
つかむ	1 時間目 … No. 1 ~ 4		
	<p>【事前学習】</p> <p>■生活の中で使われている鉄について気づき、見学への関心を高められるようにする。</p>	<p style="text-align: center;">No.1~8</p> <p style="text-align: center;">身のまわりの鉄を探してみよう！など</p> <p>◎家庭学習として事前に見ておいた「ハツラツ鉄学」を踏まえて、WSの記入内容を共有したり、答え合わせしたりして見学の目当てを考える。</p> <p>◎グループに分かれ、ハツラツ鉄学を適宜確認しながら、製鉄所で働く方に聞きたいことや特に見たいところを端末にまとめていく。</p> <p>【質問例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの鉄の課題は？ ・鉄づくりをしていて、一番大変なのはどの工程？ ・昔の鉄と今の鉄の違いは？ ・製鉄所で働いていて、よかったことは？ <p>◎グループで考えた聞きたいと思ったことを発表し共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆事前にハツラツ鉄学を閲覧させておくことで、スムーズに学習に移れるようにする。 ◆身の回りにたくさんある鉄を作っている現場を見学しに行くことを伝え、見学へのモチベーションを高める。 ◆見学の目当てを設定することで、子どもたちが主体的に見学できるようにする。 ◆ただ製鉄所に行くのではなく、疑問やわからないところを解決するために行くということを確認する。 ◆質問をまとめて見られるようにしておくことで、実りある社会科見学ができるようにする。 ◆見学後のまとめの活動についても触れておく。 <p>評価: 事前の学習や他児童との関わりを通して、見学への見通しを持っている。 【主体的に学習に取り組む態度】</p>

過程	ねらい	学習活動	留意点と評価
まとめる・つなぐ	<p style="text-align: center;">3～4 時間目 … No. 1～8</p> <p>【事後学習①】 ■学習内容について調べてきたことをもとに、これからの鉄鋼業について考える。</p>		
	<p>【事後学習②】 ■考えたことを、これからの鉄づくりパンフレットなどにまとめる。</p>	<p style="text-align: center;">No. 1～8 鉄はどんなところでつくられているの？</p> <p>◎学習問題について分かったことを話し合う(技術の高度化、環境に負荷をかけない循環型の生産、他国との協調など)。</p> <p>◎学習したことを基に、これからの鉄生産や、これからどのような鉄がつくられていけばいいのか、パンフレットなどをつくる。</p>	<p>◆工業製品を支える鉄鋼業であること、また、環境や資源、安全など多様な視点から、これからの鉄鋼業について考えるようにする。</p> <p>評価：・鉄鋼業に関わる人々の工夫や努力、消費者の需要や社会の変化を関連付けて、鉄鋼業に関わる人々の働きや学習問題について考え、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・調べたことをもとに、鉄鋼業に関わる人々の工夫や努力を理解している。 【知識・技能】</p> <p>◆作品の展示コーナーを設ける。付箋を備え、感想や意見が記入できるようにする。</p> <p>評価：これからの鉄鋼業の発展について考え、パンフレットに表している。 【思考・判断・表現】</p>